

番号	重点目標	ビジョン実現のための重点目標と目標達成のための手段	数値目標	自己評価	評価の説明と今後の対策	学校運営協議会		
						意見等評価		
1	自主的な学びの推進	●学び合う学習、振り返る学習をとおした「わかる・できる」授業の展開	学習に関するアンケート調査における質問項目①(本時の目標)②アウトライン③学び合い④振り返り⑤わかる・できる)の全ての項目で肯定的な回答を昨年度以上にする。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習に関するアンケート調査質問項目①②③④のすべての項目で肯定的な回答が昨年以上となった。「わかった・できた」と感じていると回答した生徒は91%であった。次年度も「振り返り」と「学び合い」の学習を継続して、生徒の学力向上を図り、教職員の相互参観による授業力の向上とともに実践を深める。 ○ 「家庭学習に積極的に取り組み学力を付けている」と回答した生徒が79%となりR2より8%向上したが、保護者の肯定的回答は56%であった。「学びの手引き」の活用や、ノーメディアデー等の家庭への啓発について積極的に取り組む。 ○ 全学年の総合的な学習の時間にSDGsの内容を取り入れ、課題意識を高めた。「働くことに関心を持ち、将来の夢や職業を思い描いている」と回答した生徒は、前年度同様82%であった。本年度は、SDGsについて基礎を学んだが、次年度さらに具体的な課題を見つけさせ、より深い学習に取り組ませる。 ○ 生徒会活動でのお互いの貢献の様子を見る化し、理想的な活動を示すことで、活性化が図られた。「生徒会活動に積極的」と回答した生徒は昨年度86%に対し本年度は100%となった。主体性を伸ばし、「自立」と「貢献」を目指す。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な制約がある時期に、2年生の職場体験学習が実施できて、とても良かったと思う。貴重な経験だった。 ・ 生徒会活動や委員会活動が活発であるのに、保護者の評価が低いことが残念。 ・ 家庭学習の取り組みについては、生徒と保護者の求めている姿の温度差もあるのではないかと感じる。 ・ 様々な課題があり、大変な時代と思いますが、子供たちのためにご尽力されていると思います。子供が成長するにつれ子は「宝」とつくづく感じる。 ・ 「生徒会活動に積極的」と回答した生徒は100%でとても素晴らしいと思う。自分の意思を素直に伝えることができるということは、簡単なようで、難しい。今後もそれができる雰囲気づくりを大切にしてほしい。
		●学習の意義の理解、家庭への啓発と連携をとおした家庭学習の充実	学びの手引き等を活用して継続的に指導し、家庭学習の充実度について肯定的な回答を8割以上にする。	3				
		●地域や世界の課題把握と探究的な学習をとおしたキャリア教育の充実	SDGsの観点から地域や世界の課題把握と探究的な学習を展開し、自分自身に何ができるかを考えさせ、将来の夢や目標を思い描く生徒を9割以上にする。	3				
		●生徒自らが課題解決を図る主体的な生徒会活動の推進	生徒が課題に気付き、解決に向け行動するよう支援し、生徒会活動をさらに活性化させ、生徒の主体的活動に関する肯定的回答を9割以上にする。	3				
2	協同的な人間関係の構築	●いじめ・不登校生徒をなくす魅力ある学校づくり(居場所づくり、絆づくり)の推進	全生徒保護者が誰かにつながっているようにするとともに、居場所づくり、絆づくりを継続し、いじめや差別を許さない立場で行動できる生徒を100%にする。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不登校生徒数は微増の状況であるが、関係機関と連携し対応を継続している。絆づくりの活動は各学年で計画的に実施している。「いじめや差別を許さない」と回答した生徒は96%であった。今後も100%を目指し、いじめを許さない、そして、絆のある学校を目指して手立てを考えて実践していく。 ○ 学年ごとに全職員で実施する道徳の授業が定着してきた。「道徳的な力を身につけようとしている」と回答した生徒は96%であり、今後も、全職員が関わる道徳教育の良さを生かし、全教育活動を通して積極的に取り組んでいく。 ○ 総合的な学習の時間におけるSDGsの探究活動を行うとともに、平和学習、人権教育に取り組み、「みんなと何かすることが楽しいと感じる」と回答した生徒は95%であった。本年度、全学年でSDGsについて取り組み、3年生代表生徒による発表や外部の方を招いての講演会を行い、学習を深めることができた。次年度、一層内容を充実させる。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校やいじめについては、当事者でないと現状はわからないので、この高い評価をそのまま受け止めて良いのか難しい。 ・ あいさつの質の違いは、地域の環境や家庭環境、日々の習慣の影響もあるのではないかと感じる。 ・ 道徳的な力を身につけようとしているという目標の9割を超えているので実践できていると思う。いじめや差別を許さない、そしてそれに「負けない強さ」をもう一歩進んで教えてあげてほしい。
		●個々の変容を促す組織的な道徳教育の実践	全職員で実施する道徳の授業を定着させ、一人一人の変容を多くの目でとらえ評価し、道徳的な力を身につけようとする生徒を9割以上にする。	3				
		●互いのよさを認め合い、尊重し合う人権教育や特別支援教育の充実	SDGsや平和学習、人権教育を関連付け指導し、みんなと何かすることが楽しいと感じる生徒を9割以上にする。	3				
3	健康的な心身の育成	●命を大切にするための安全教育や防災教育の充実	学校以外で地震や津波が起こった場合の避難場所を家族で話し合わせ、生活の記録に全員記載させる。登下校時の交通ルールやマナーを守る生徒を9割以上にする。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校外の避難場所の記録は全員確認したが、保護者向けの調査では「話し合いが十分でない」との回答が11%であった。登下校時の交通ルールやマナーを守ると回答した生徒は99%であった。いつ起こるか分からない災害に対して、落ち着いて行動できるよう、毎回の訓練(高崎シエイクアウト、避難訓練等)に真剣に臨み、命を守る意識を高めさせる。 ○ コロナ感染対策等の保健指導を徹底した。適度な運動、バランスよい食事については、88%の生徒が肯定的な回答であった。健康に意識を向ける大切さを重視し、学校栄養教諭による食育の学習等を充実させ、食に対する意識を高めさせる。 ○ インターネットやスマホを使う場合のルールを決めている生徒は76%、保護者については69%であり、啓発が必要である。校区内で、年3回、ノーメディアデーの取組を実施しているが、メディアについてのメリット、デメリット等を自覚させ、ルールづくりの実践と、けじめのある生活習慣を身に付けさせる。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通ルールやマナーの意識が、生徒と保護者、職員と地域の方との差があるのが気になった。事故を防げているのは、地域の方や先生方の見守りであることを改めて知ることができた。 ・ メディアコントロールは、引き続き大きな課題だと思う。 ・ 学校外の避難場所の確認と記録についての項目では、「話し合いが十分でない」が11%と低い数字が心配なので、家庭で、学期毎に避難場所の確認するよう、調査やアンケートの実施をするとうい。 ・ ノーメディアデーはとてもよい。
		●健康を大切に、体力向上を図る保健指導・食育指導の充実	適度な運動、バランスのとれた食事が実践できる生徒の割合を9割以上にする。	3				
		●規則正しい生活の確立と環境教育の充実	インターネットやスマホを使う場合のルールを決めている生徒を8割以上にする。	2				
4	家庭・地域との連携	●日向中校区ランドデザインの設定と展開による地域とともにある学校づくりの推進	地域の代表である学校運営協議会において、生徒との意見交換の場を設け、ともに課題を共有し、解決できるように進める。	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校運営協議会において、生徒会が課題解決に向け宣言した内容についての取組をプレゼンにまとめ発表し、委員からのアドバイスを得た。今年度は、校則や、制服の見直し等、生徒にとっても大きな変化のある年であったため、生徒会を中心とした話し合い活動や、意見交換会等が活発に行われた。また、ズームでの遠隔形式の開催となったが、昨年開催できなかった小中合同研修会は2回実施できた。 ○ 保護者の参観の機会を積極的に設け、生徒の活動の様子を伝えた。通信関係は、定期的に発行しており、特に学級通信については、ほとんどの学級で毎週の発行がなされた。また、学校よりも毎月定期的に発行し、学校の様子を保護者に伝えることができた。コロナ禍のため、行事の実施に制約があったが、HPの充実を図り、学校の様子や連絡事項を適宜更新した。今後も、生徒が自主的に活躍する姿や生徒が積極的に関わっていることを取り上げ、さらに内容を充実させて発信する。 ○ 個別な支援が必要な生徒については適宜ケース会を設け、個別の対応を充実することができた。よりよい解決につなげられた事案があり、関係機関の連携の重要性を実感した。個に応じた継続的な関わりが必要である。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校則、制服の見直し改革は、協議委員会を納得させる素晴らしい活動内容でした。生徒会の皆さんはもちろんでしたが、生徒会を支えていただいた先生方にも高い評価をします。 ・ 生徒会の取り組みについてのプレゼンにまとめた発表は、素晴らしく、頼もしく感動しました。 ・ 毎週発行される通信は、本当に楽しみです。心を動かされます。 ・ 参観週間の取り組みも保護者が参加しやすい形だったと思う。 ・ 学校だよりやHP、各行事等、先生方の努力は本当にありがたい。 ・ コロナ禍の中、行事の制約はやむを得ないが、今後もぜひ工夫して可能な限り実行してほしい。
		●開かれた学校づくりのための家庭や地域への情報発信の充実	行事や総合的な学習の時間の発表等を公開し保護者の参観を促す。学校通信、学年通信、学級通信、生徒指導通信、保健便り、図書館だよりを定期的に発行し、HPを更新する。	4				
		●地域や関係機関との連携による教育活動の充実	市教育委員会、子ども課、児童相談所等との連携を密にし、個別の案件についてのケース会等を随時設け連絡を取り合い、よりよい問題解決につなげていく。	4				